

第47号 社協だより

発行日：平成28年9月26日
発行所：社会福祉法人喜界町社会福祉協議会
〒891-6201
喜界町赤連22番地（老人福祉センター内）
TEL 65-0887・0449
<http://kikai-shakyo.org/>

平成27年度 喜界町社会福祉協議会 事業報告

平成27年度国の介護報酬改正率が△2.27%であったことから、当初収入の減が危惧されたが、対前年比8%増の収入であった。本町では施設介護が充実してきたことや、特養の入所要件が要介護3以上になったことから、入所待機者は一時期より減少したようですが、地域包括ケアシステムの実現に向けて、切れ目のない介護医療の体制整備や人材の確保、介護予防事業の充実が必要かと思われまます。

一方では、生活保護に至る前の第二のセーフティネットとして、4月から施行された生活困窮者自立支援事業では、生活、仕事、病気、介護、離婚等の生活に関わる相談がありました。本会の使命である「地域福祉の推進は誰もが地域でいきいきと生活できる社会の実現」であることから、介護保険事業と地域福祉事業、そして住民活動が連携することを念頭に以下のとおり活動しました。

運 営 体 制

理事会の開催：4回 評議員会の開催：4回 監事会：1回

介 護 保 険 事 業

居宅介護支援事業 訪問介護事業 訪問入浴事業 福祉用具貸与事業 小規模多機能型居宅介護事業

地域見守りネットワーク支援事業

- ① 見守り活動等育成・・・見守りを基盤とした生活課題の把握 ・地区連絡会の開催（13集落18回）
・在宅福祉アドバイザー研修会の実施（平成27年7月29日 役場コミュニティホール 受講者104名）
- ② ネットワーク事業・・・民生委員・在宅福祉アドバイザーを核とした見守り声かけのネットワークの充実拡大
一次支援〔安否確認〕18, 297回 二次支援〔話し相手・ゴミ出し・電球取替え等〕9, 920回
三次支援〔専門業者への連絡〕11回
- ③ ネットワーク推進協議会の実施：平成27年10月13日 社協ホール 17名

権 利 擁 護 関 係 事 業

福祉サービス利用支援・・・日常的金銭管理や書類等の預かりサービスの実施。
(利用者30名 のべ利用回数572回)

障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業

- 障害者相談支援事業・・・障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行う。(のべ利用者数68名)
- 障害者居宅介護事業・・・居宅において身体介護及び生活支援を行います。(のべ利用者数95名)

地域福祉関係事業

- 心配ごと相談所・・・地域住民のかかえている心配ごとに対し、関係機関との共働により問題解決を図る。(相談件数7件)
- ボランティア登録・・・ボランティアを登録することで、受け手と担い手の調整を行い、ボランティア活動の活性化を図ることを目的に実施。
(登録団体9団体477名 個人12名)
- ふれあいいきいきサロン事業・・・高齢者等に対し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図ることを目的に実施。(年間実施回数281回のべ利用者数3,276名 実施集落26集落)
- 生活福祉資金貸付事業・・・低所得世帯や身体障害者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助を行うことにより世帯の更正が図られるよう援助する。
(過年度貸付7件 今年度貸付0件 相談件数13件)

日本赤十字業務の推進

1. 地域における赤十字社員増強運動の実施
〔社費募集内容〕赤十字社鹿児島支部目標額1,875,000円 赤十字社費募集実績1,255,500円
2. 災害救護活動(救援物資・災害死亡弔慰金支給)
火災全焼0件

共同募金・歳末たすけあい募金運動

① 一般募金目標額	1,495,000円	一般募金実績額	1,271,775円
② 歳末助け合い募金目標額	410,000円	歳末助け合い募金実績額	383,320円

その他事業

- 生活困窮者自立支援事業・・・生活困窮者が抱える多様で複合的な問題の相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行い、自立の促進を図る。相談件数19件 支援調整会議3回
- 福祉有償運送事業・・・他者の介護によらずに移動することが困難であり、単独でタクシー等の公共料金を利用することが困難な身体障害者、要介護者、要支援者、その他障害を有する者等の運送を行う。利用者数 13名 延べ回数516回
- 福祉センター管理業務・・・のべ利用者数 1,915名
- 広報活動・・・社協だよりの発行：年4回4000部
行政無線(心配ごと相談)：4回

☆日赤社資のお礼☆

★法人(企業)社資:(株)峰山建設、銀座コーポレーション(株)

ご協力いただいた社資は、日赤鹿児島県支部へ送金しました。ご協力ありがとうございました!

☆命のリレー(救急法)講習会☆



大島地区消防組合の職員を講師にお招きし心臓マッサージの仕方やAEDの使い方について学びました。

平成27年度一般会計収支決算書 (単位：千円)

区 分			決 算 額	区 分			決 算 額	
収 入	事業活動による収入	会費収入	840	支 出	事業活動による支出	人件費支出	103,089	
		寄付金収入	1,661			事業費支出	13,966	
		経常経費補助金収入	3,000			事務費支出	8,474	
		助成金収入	52			貸付事業等	140	
		受託金収入	6,878			共同募金配分金事業	1,037	
		事業収入	5,184			助成金支出	120	
		貸付事業等収入	140			負担金支出	197	
		共同募金配分金収入	1,037			借入金利息支出	85	
		介護保険収入	100,658			その他の支出	110	
		障害福祉サービス等事業収入	3,197					
		その他の事業収入	389					
		受取利息配当金収入	16					
		その他の収入	4,270					
		小 計	127,322			小 計	127,218	
	等収入	施設設備	施設整備等収入	1,500	支 出	施設設備等支出	設備資金借入金元金償還支出	1,070
							固定資産取得支出	4,782
小 計			1,500	小 計			5,852	
活動による収入	その他の	積立金取崩収入	4,000	支 出	活動によるその他の	その他の活動による支出	3,781	
		退職積立基金預け金返還金収入	9,263					
		小 計	13,263			小 計	3,781	
合 計			142,085	合 計			142,085	

平成28年度ボランティア講座及び赤十字奉仕団研修会



毛布を使った担架

包帯法

平成28年8月26日(金)自然休養村管理センターにおいて、「ボランティア講座及び赤十字奉仕団研修会」を開催し、区長・民生委員・在宅福祉アドバイザー・奉仕団等の方々約90名が受講されました。研修会では、日本赤十字社鹿児島県支部事業推進課長田上公威氏と赤十字講習指導員中山忠順氏を講師に迎え、非常炊出し訓練や熊本県地震災害での日赤の災害支援を記録したビデオ鑑賞やその他、三角巾や毛布を使いいざという時にすぐに役立つ応急手当法を学びました。受講者アンケートでは、「とても勉強になった！災害はいつくるのかわからない、いざという時に慌てないためにも日頃から備えが必要！」と感想がありました。

☆共同募金会からのお知らせ☆

赤い羽根共同募金運動が始まります。
運動期間は10月1日～3月31日。
今年度も皆様のご協力宜しくお願いします。

チャリティゴルフ大会

11月6日(日)
参加者募集中です!!

街頭募金期間!!

12月21日(水)～25日(日)



共同募金目標額

一般募金	1,380,000円
歳末たすけあい募金	410,000円
合計	1,790,000円

- ☆一般募金とは町を住み良くするための募金です。戸別募金、学校募金、企業募金があります。県共同募金会へ全額送金しますが、約6割は本町地域福祉事業費(心配ごと困りごと相談、ネットワーク事業、広報費)として配分されます。
- ☆歳末たすけあい募金とは街頭募金、チャリティゴルフ大会、その他の寄付金、商店に設置した募金箱に寄せられた募金を町内に居住し、在宅で介護を受けている要介護3以上の方にオムツ代の支援として全額配分します。

地域見守りネットワーク支援事業(アドバイザー)研修会

平成28年7月29日(金)役場コミュニティホールにおいて、「地域見守りネットワーク支援事業(アドバイザー)研修会を開催し区長・民生委員・在宅福祉アドバイザー・協力員約100名の方が受講しました。今回は、鹿児島県社会福祉協議会地域福祉部主幹神菌隆志氏を講師に招き「見守り・支え合い活動が結ぶ地域の絆」と題し、地域社会の現状と課題や県内の地域住民が主体となっている見守り活動や生活支援の事例を交えて講演していただきました。また、事例発表では、パネルディスカッション形式で行い、滝川集落区長：一宮和夫氏と伊砂集落前区長：岩切進一郎氏をパネリストとして見守り活動の事例を発表していただきました。両氏からは、地域の中で支援が必要と思われる世帯や高齢者に寄り添い、相談や支援に取り組んだ結果、これまでなかった地域との関わりが生まれた!地域では対応できない問題については、各関係機関と連携をとることで適切な支援ができるようになった!と話されました。



アンケートでは、「地域で見守っていくことの大切さを感じた!高齢者の方々が安心して過ごしていけるように活動を続けたい!大変参考になった!」と多くの方より感想がありました。

今後も、地域の皆さん方と一緒に地域課題や住民の声・困りごとに対して支援の輪が広がるよう、ネットワークづくりを推進していきます。

